

地図の見方

この地図に記した遺跡は3種類に色分けしています。

- 黄色は駐車場等が整備され、見学しやすい遺跡です。
- 黒色は専用の駐車場等は整備されていませんが、見学可能な遺跡です。
- 青色は開発事業に伴い発掘調査を行った遺跡などです。消滅したのも多く見学はできませんが、周辺の地下にはまだ遺跡が広がっている場合もあります。

遺跡を見学するときの注意点

- ・野外活動に適した服装・靴を身につけましょう。
- ・みだりに私有地に入らないようにしましょう。
- ・草木をむやみに切ったり、田畑を踏み荒らしたりしないようにしましょう。
- ・まわりの人に「あいさつ」を忘れず、また遺跡を見学していることを説明しましょう。
- ・ハチやヘビ、ウルシなど有害な動物に気をつけましょう。



〈発行〉
岡山県古代吉備文化財センター
〈所在地〉
〒701-0136 岡山市北区西花見 1325-3
TEL 086-293-3211 FAX 086-293-0142
https://www.pref.okayama.jp/site/kodai/
〈交通〉
JR扶太郎線吉備津駅から徒歩25分
JR山陽本線・伯備線産殖駅から徒歩40分
〈展示室内〉
岡山県内の出土品を展示
開館 9:00～17:00
休館 年末年始（臨時休館あり）
入館無料



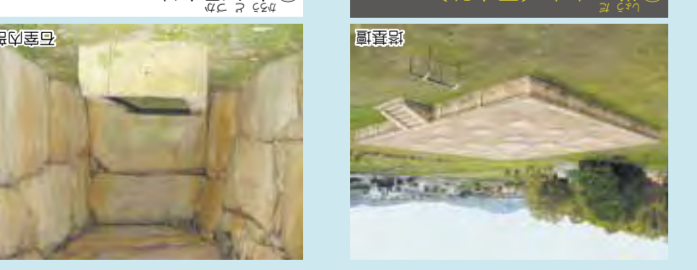
岡山県立博物館
岡山県立博物館は、岡山県内の出土品を展示し、岡山県の歴史や文化について紹介しています。



岡山県立博物館
岡山県立博物館は、岡山県内の出土品を展示し、岡山県の歴史や文化について紹介しています。



①横井上お台場遺跡(市史跡)
弥生時代前期の環濠跡に築かれた20m四方の石室を伴った、鉄器・玉環等の出土。石室から甲冑や鉄器・玉環等の出土。弥生時代前期の環濠跡に築かれた20m四方の石室を伴った、鉄器・玉環等の出土。



②七つ塚古墳群(市史跡)
石室の南側に築かれた1号墳は鉄器・玉環等の出土。石室の南側に築かれた1号墳は鉄器・玉環等の出土。



②造山古墳(国史跡)
古墳時代中期の前方後円墳で、全長350mは全国第4位の規模。前方部頂には阿蘇城式石製の家形石棺が残る。



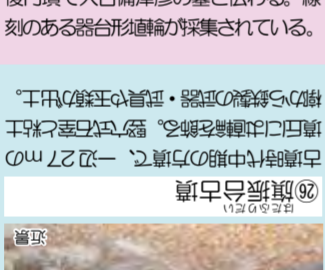
③王墓山古墳(県史跡)
古墳時代後期の横式石室に納められた浪形石製の家形石棺を展示。出土品は東京国立博物館に収蔵されている。



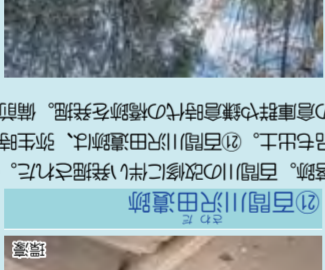
③妹尾兼康の墓
寿永2年(1182)に福隆寺で木曾義仲の部将と戦った平家の有力家人、妹尾兼康の墓と伝わる宝篋印塔。



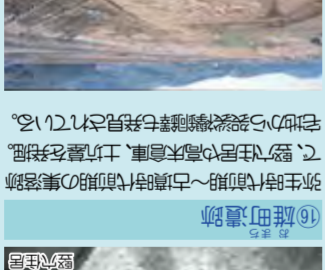
④中山茶臼山古墳
吉備中山山頂にある全長105mの前方後円墳で大吉備津彦の墓と伝わる。線刻のある器台形土器が採集されている。



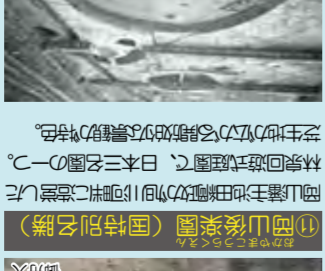
④矢部古墳群A
弥生時代～古墳時代初期の前方後円墳を伴った墳丘墓で、特殊器台を伴う。壺式石室に銅鏡・玉環・鉄斧を副葬。



④矢部古墳群B
弥生時代～古墳時代初期の前方後円墳を伴った墳丘墓で、特殊器台を伴う。壺式石室に銅鏡・玉環・鉄斧を副葬。



④矢部古墳群C
弥生時代～古墳時代初期の前方後円墳を伴った墳丘墓で、特殊器台を伴う。壺式石室に銅鏡・玉環・鉄斧を副葬。



④矢部古墳群D
弥生時代～古墳時代初期の前方後円墳を伴った墳丘墓で、特殊器台を伴う。壺式石室に銅鏡・玉環・鉄斧を副葬。



③0備中高松城跡(国史跡)
天正10年(1582)に羽柴秀吉が水攻めをしたことで知られる毛利方の平城で、公園内には詳細図が解説されている。



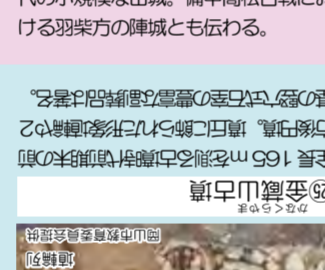
③4伝賢陽氏館跡(県史跡)
75×61mを測る中世の方形遺跡で、周囲に高さ30mの堀がめぐらされている。吉備神社の神宮を築いた陽氏の館跡と伝わる。



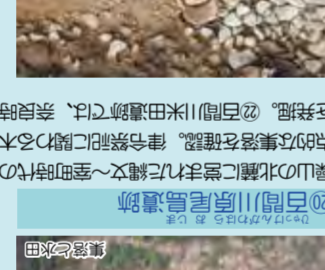
③8藤原成親遺跡(県史跡)
治承元年(1177)に鹿ヶ谷山荘で平家頼朝を討った藤原成親の館跡とされる高麗石造。山門の礎石や成親の墓が残る。



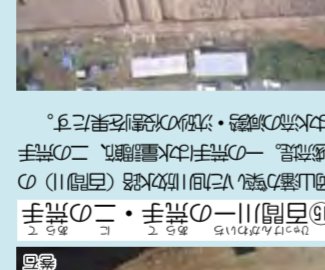
④2宮内城跡
吉備中山の北西尾根に築かれた戦国時代の小規模な山城。備中高松合戦における羽柴方の陣城とも伝わる。



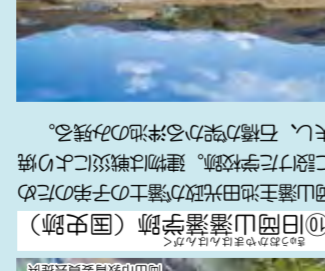
④3矢部古墳群E
弥生時代～古墳時代初期の前方後円墳を伴った墳丘墓で、特殊器台を伴う。壺式石室に銅鏡・玉環・鉄斧を副葬。



④3矢部古墳群F
弥生時代～古墳時代初期の前方後円墳を伴った墳丘墓で、特殊器台を伴う。壺式石室に銅鏡・玉環・鉄斧を副葬。



④3矢部古墳群G
弥生時代～古墳時代初期の前方後円墳を伴った墳丘墓で、特殊器台を伴う。壺式石室に銅鏡・玉環・鉄斧を副葬。



④3矢部古墳群H
弥生時代～古墳時代初期の前方後円墳を伴った墳丘墓で、特殊器台を伴う。壺式石室に銅鏡・玉環・鉄斧を副葬。



③1備中高松城水攻め跡(国史跡)
備中高松城の水攻めに際して羽柴秀吉が築いた堤のあと。近年、発掘された堤のあとを整備・公開している。



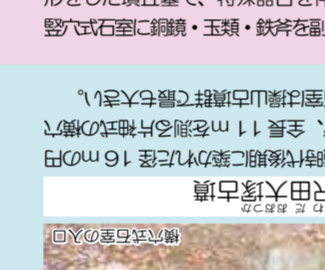
③6撫川城跡(県史跡)
江戸時代、庭園城の一角に開かれた旗本戸川氏の知行所跡。周囲を土塁と石垣で囲み堀をめぐらす。当時の櫓門を復元。



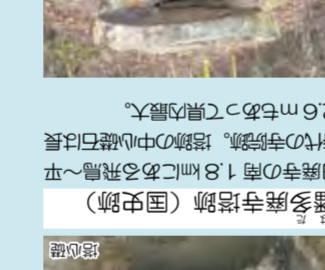
③9石舟古墳(市史跡)
古墳時代後期の横式石室で、竜山石製の石棺が残る。備前一宮跡に隣接する家形の石室はここから運ばれたと伝わる。



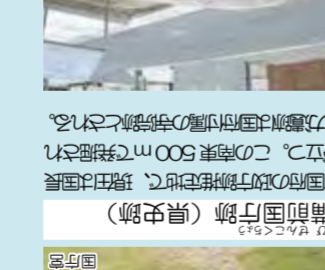
④3矢部古墳群I
弥生時代～古墳時代初期の前方後円墳を伴った墳丘墓で、特殊器台を伴う。壺式石室に銅鏡・玉環・鉄斧を副葬。



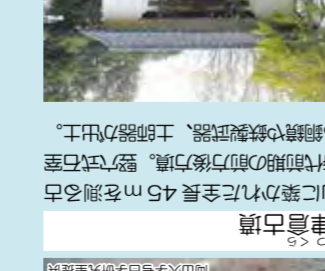
④3矢部古墳群J
弥生時代～古墳時代初期の前方後円墳を伴った墳丘墓で、特殊器台を伴う。壺式石室に銅鏡・玉環・鉄斧を副葬。



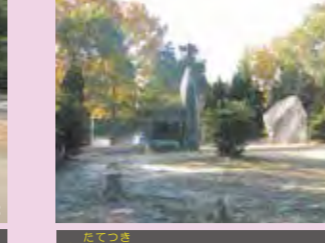
④3矢部古墳群K
弥生時代～古墳時代初期の前方後円墳を伴った墳丘墓で、特殊器台を伴う。壺式石室に銅鏡・玉環・鉄斧を副葬。



④3矢部古墳群L
弥生時代～古墳時代初期の前方後円墳を伴った墳丘墓で、特殊器台を伴う。壺式石室に銅鏡・玉環・鉄斧を副葬。



④3矢部古墳群M
弥生時代～古墳時代初期の前方後円墳を伴った墳丘墓で、特殊器台を伴う。壺式石室に銅鏡・玉環・鉄斧を副葬。



③2橋築遺跡(国史跡)
弥生時代後期に築かれた推定全長約80mの墳丘墓で、墳頂には巨石が立つ。旋帯文石(国重文)の収蔵施設がある。



③6真金一里塚(国史跡)
近世山陽道(西国街道)の南北両側に塚(土盛り)が残る。北側に兼松、南側に堀が植えられていたと伝わる。



④0岡山県古代吉備文化財センター
神明遺跡の発掘調査で出土した、西国街道の特殊器台など、県内の出土品を多数収蔵。



④4尾上車山古墳(国史跡)
全長138mを測る古墳時代前期の前方後円墳で、形象土輪や壺形土輪が採集されている。別名キリギリ山。



④4尾上車山古墳(国史跡)
全長138mを測る古墳時代前期の前方後円墳で、形象土輪や壺形土輪が採集されている。別名キリギリ山。



④4尾上車山古墳(国史跡)
全長138mを測る古墳時代前期の前方後円墳で、形象土輪や壺形土輪が採集されている。別名キリギリ山。



④4尾上車山古墳(国史跡)
全長138mを測る古墳時代前期の前方後円墳で、形象土輪や壺形土輪が採集されている。別名キリギリ山。



④4尾上車山古墳(国史跡)
全長138mを測る古墳時代前期の前方後円墳で、形象土輪や壺形土輪が採集されている。別名キリギリ山。

吉備中山とその周辺

吉備の中山や足守川の流域には、吉備の津の繁栄ぶりを伝える集落や墳墓が所在するほか、戦国時代には織田と毛利の決戦の舞台となりました。



岡山市街地

旭川の下流域では、豊かな農業生産を背景に大規模な集落や有力な古墳が築かれ、江戸時代には城下町が開かれて政治・経済の中心となりました。



岡山市街地拡大図

吉備中山とその周辺拡大図

表紙・裏表紙：セクタール空(岡山市)から南方を望む



おかやま☆遺跡探訪

岡山市南部とその周辺

岡山市と玉野市周辺

表紙・裏表紙：セクタール空(岡山市)から南方を望む

